報版

発行/板橋区 編集/広聴広報課 〒173-8501 板橋区板橋2-66-1 FAX 3579-2028(広聴広報課) https://www.city.itabashi.tokyo.jp/ 区役所代表 © 3964-1111

あなたのこころの健康を サポートします

こころのメンテナンスをしましょう

こころの病気は、体の病気と同じように、だれでもかかる可能性があるため、ストレスと上手につ きあう暮らし方を心がけることが大切です。こころの病気への理解を深め、病気を予防しましょう。

各健康福祉センター(4面健康ガイド参照)



こころの病気とは?

悩みや強いストレス状態が続くことで精神・体の働きが不安定になり、 日常生活に支障が出てしまう病気のことです。うつ病・パニック障害・睡 眠障害など様々な種類があります。

まずは、自己チェック(下表を照)を行い、こころの健康状態を確認して みましょう。

こんな状況が続いていたら相談を

サイン	
自分が気づく変化	気分が沈む・憂うつ
	何をするのにも元気が出ない
	イライラする・怒りっぽい
	理由がないのに不安な気持ちになる
	気持ちが落ち着かない
	胸がドキドキする・息苦しい
	何度も確かめないと気がすまない
	周りにだれもいないのに人の声が聞こえてくる
	何も食べたくない・食事がおいしくない
	なかなか寝つけない・熟睡できない
周囲が気づく変化	服装が乱れてきた
	急に痩せた・太った
	感情の変化が激しくなった・表情が暗くなった
	一人になりたがる
	不満・トラブルが増えた
	独り言が増えた
	他人の視線を気にするようになった
	遅刻・休みが増えた
	ぼんやりしていることやミス・物忘れが多い
	体に不自然な傷がある

出典: 「こころの病気の初期サイン」(国立精神・神経医療研究センター「こころの情報サイト」) を加工して作成

その悩みを相談してみましょう

こころ・体の不調は、ひとりで抱え込まずに、家族・友人・知人などの 信頼できる人やかかりつけ医に相談してみましょう。また、健康福祉セン ターでは、精神科医によるうつ相談(予約制)・保健師による相談を行って います。ぜひ、ご利用ください。

こころの健康お役立ちサイト

厚生労働省「こころの耳」

こころの病気のセルフケア情報などを紹介しています。



厚生労働省「こころもメンテしよう」

若者向けのストレスケア情報などを紹介しています。



国立精神・神経医療研究センター「こころの情報サイト」

こころの病気の治療・支援情報などを紹介しています。

こころの健康づくり講座

▶とき= 1月13日(土)14時~16時 ▶ところ=グ リーンホール 2 階ホール ▶ **内容** = 講義 「家庭 ・職場でごきげんに生きるコツ」**▶講師**=ス ポーツドクター 辻秀一**▶定員**=150人※申 込方法など詳しくは、区ホームページをご覧 ください。



志村健康福祉センター☎3969-3836

生活習慣を見直し糖尿病を予防しましょう

日本では、生活習慣・社会環境の変化に伴 い、糖尿病の患者数が急速に増加しています。 令和4年度の板橋区国民健康保険特定健康診査 結果では、糖尿病を患っている・糖尿病の疑い がある方は、約4人に1人います。また、国民 健康保険被保険者1人あたりの糖尿病に関する 医療費は、東京都全体の平均額を上回っていま

糖尿病の予防には、生活習慣を改善し、適正 体重を維持していくことが大切です。定期的に 健診などを受け、早期発見に努めましょう。

糖尿病とは

血糖をコントロールするインスリンというホ ルモンの分泌量・働きが低下し、血液中のブド ウ糖の高濃度状態が慢性的に続く病気です。

糖尿病の発症には、肥満・運動不足・ストレス などの生活習慣が関与していると言われています。

深刻な合併症

糖尿病の初期には自覚症状がありませんが、高 血糖状態を放置していると、全身の血管が損傷を 受け、糖尿病網膜症・糖尿病神経障害・糖尿病腎 症など重篤な合併症を引き起こす恐れがありま

す。また、合併症の進行により、 失明したり透析治療が必要になっ たりすることがあります。※この ほか、動脈硬化の進行により、脳 梗塞・心筋梗塞などを発症し、生 命の危険が生じる恐れがあります。



糖尿病を予防する生活習慣

生活習慣を見直し、糖尿病を予防しましょう。 ●適正体重を知り、体重を管理する※BMI(肥満 判定の国際基準=体重(kg)÷身長(m)÷身長 (m))の標準は、18.5~25.0未満。

- ●甘いもの・脂っこいもののとりすぎに注意 し、野菜をしっかり食べ、バランスの良い食 事を心がける
- ●お酒はほどほどに、週2日は休肝日にする
- 毎日の生活でプラス10分歩く
- ●ストレスをためないようにし、休息・睡眠を しっかりとる
- ●年に一度は健診を受けて、血糖値を把握する

区民健康なんでも相談

各健康福祉センターの保健師・管理栄養士 が、健診結果の見方や食事・生活習慣の改善方 法などの相談に応じています。気軽にご相談く ださい。

問合

各健康福祉センター (4面健康ガイド参照)